

豊後高田市立 桂陽小学校

学力向上プランの概要

〈授業改善の重点〉

「生徒指導の3機能」を意識し、協調学習の視点を取り入れる。

(1) 1時間のゴール（まとめ）がイメージできる課題を設定する。

- ・「新大分スタンダード」にそって、授業のめあて・課題・評価規準を単元ごとに自己評価する。
- ・学年部で月1回以上、「めあて、課題、まとめ等」を検証する。

(2) 自分の考えをもたせ、自他の考えをつなぐ交流の場を設定する。

- ・課題に対する自分の考えを持つ時間を保証する。
- ・ペアやグループでの話し合いを充実させ、自分の考えを伝えたり考えが深まるような質問をしたりしていく。
- ・単元ごとに児童に振り返りカードを書かせ、検証する。

(3) 学びに向かう環境をつくる。

- ・「学習のきまり」「家庭学習のきまり」「生活のきまり」を浸透させる。
- ・朝の読書タイムの充実を図る。
- ・週4回のステップタイム（学習）、週1回ののびのびタイム（体育）を実施する。
- ・生活点検の取り組みをPTAと協力しながら進め、基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・地域の取り組みとしては、学期に1回以上、授業参観をしてもらうことと、学習サポーターとして授業に入ってもらおう。

効果のある取組事例

(1) 指導方法や指導形態の工夫

○習熟度別少人数指導

- ・レディネステストと児童の希望を基に、5，6年生の算数の授業を2～3クラスに分け、少人数で指導を行った。

○少人数指導

- ・ 3, 4年生の算数では、学年を2クラスに分け、少人数で授業を行った。



〈4年生 少人数指導〉



〈6年生 習熟度別指導〉

(2) 児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫

○学び合いの場の工夫

- ・ 協同学習の手法のひとつである「知識構成型ジグソー法」を取り入れた授業実践を行った。
- ・ 上記の授業以外でも、1人で考える時間、ペアやグループで話し合う時間を確保した。



〈3年生 協同学習〉



〈6年生 協同学習〉

○桂陽小「学習・生活の基本的な規律」共通事項を確認

- ・ 年度始めに確認し、どの教室に行っても歩調を揃えて全職員が指導できるようにした。

○教室環境を共通理解

(3) 家庭学習の取組

○家庭学習手引きの作成

○家庭との連携

- ・ 家庭学習時間の調査（平日の家庭学習時間）を行うことで、実態把握と児童の意識の高揚を図った。

○教職員間での家庭学習の出し方、事後処理の方法を実践交流

桂陽小学校「学習・生活の基本的な規律」共通事項「確認」

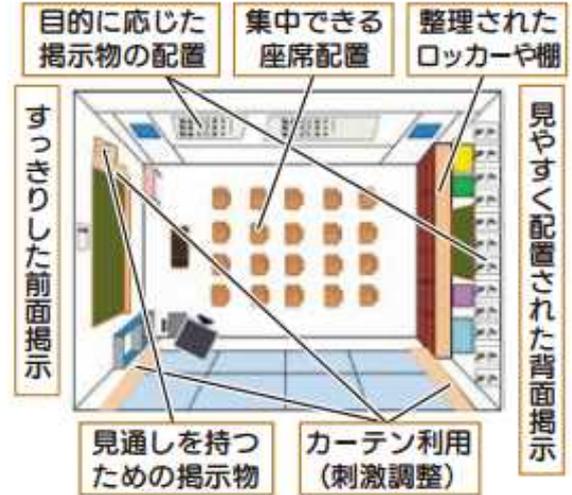
	子どもたちの学習態度	指導上の留意事項
学 習 前	<p>■学習が始まる前に、次の時間の準備をする。</p> <p>*<u>筆箱を机の上に置くかどうかは、学年部で統一する</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">筆記用具</p> <p style="text-align: center;">教科書 ノート</p> </div> <p>★体育館および特別教室への移動時は廊下に並び移動。</p> <p>★運動場の場合は並ぶ場所を決めて移動。</p> <p>★机上整理をする。(衣服をたたむ。椅子を入れる)</p> <p>★チャイム席を守り、先生が始めるまで待つ。</p> <p><u>使用するノートについて</u></p> <p>漢字ノート 低=50字、中=84字 高=91~100字</p> <p>国語ノート 1年=8マス~10マス、 2年=10マス~12マス 3年=12マス~1行 4年以上=12行</p> <p>算数ノート 1年=横開さんすう6マス~7マス 2年=14マス 3年以上=5ミリ方眼</p>	<p>○学習の終わりの挨拶後、すぐ次の学習の準備をさせる。</p> <p>*5分休みは、次の時間の準備時間およびトイレの時間である。</p> <p>○筆箱は華美ではなく適切な大きさのもの。中身も学習に集中させるために必要なもののみ。</p> <p><u>筆箱の中身</u></p> <p>→鉛筆 5~6本、(Bまたは2B)</p> <p>よく消える消しゴム (華美なもの、おもちゃ型などは×)</p> <p>赤と青の、ボールペンまたは色鉛筆 定規</p> <p>その他・・・学年によっては名前ペン、マーカー コンパス、のり、はさみ</p> <p><u>禁止のもの</u></p> <p>・シャープペンシル、練り消し、飾りがついてキャップや鉛筆、キャラクターもの定規、目盛りが見えにくく操作しづらい定規や分度器</p> <p>*「<u>忘れた</u>」を防ぐため、貸し出せるように準備しておく</p> <p>○下敷きは必ず使用する。(華美でないもの)</p> <p>○授業が始まるまでの待ち方を指導しておく。 (教科書を読む、読書をするなど)</p>
学 習 中	<p>■あいさつをする。・授業の始めと終わりは起立 (例) 日直「起立、今から〇〇の学習をします。礼」 全員「お願いします」 日直「起立、これで〇〇の学習を終わります。礼」 全員「ありがとうございました。」</p> <p>■聞き方・・・話している人のほうに顔(視線)を向ける。</p> <p>■話し方=指名されたら返事をして立つ・挙手「はい」は1回</p> <p>■起立・着席→音を立てない椅子の動き</p> <p>■ノートの使い方を徹底→算数科</p> <p>・ノートを折り曲げて使わない。・下敷きをつかう。</p> <p><u>ノートに書くこと</u></p> <p>・日付、ページ、問題番号、問題、課題 まとめ、練習 の言葉をノートに位置付ける</p> <p>■その他</p> <p>・椅子に深く座る。・鉛筆を正しくもつ。</p>	<p>○始まる時刻とともに挨拶がかけられるように徹底する。</p> <p>○正面黒板は授業用として使用する。 (伝言やメモ用としては使用しないことを基本とする)</p> <p>・前面の掲示物(学級目標なども)児童の意識や集中が散漫にならないように配慮する。</p> <p>○日付、ページ、問題番号、問題、課題、まとめ、練習のプレートを使用する。</p> <p>○授業者は矢継ぎ早に発問や質問をするのではなく、子どもの反応を確かめながら話すように心掛ける。</p> <p>○子どもによって呼び方を変えない。 ~さん など統一する</p>
	<p>■やり直しはその日のうちに学校でする。</p>	<p>前日の宿題のやり直しをさせて下校させる。</p>

教室環境

教室は、児童生徒が学校での生活の大半を過ごす場です。そこでは、各教科の学習や特別活動、休憩中の仲間とのふれ合い等様々な活動が行われます。

これらの活動がよりスムーズに行われるためには、学級の実態に応じた環境づくりが大切です。

児童生徒一人一人が、自分の力を十分発揮できるように教室環境の工夫をしてみましょう。



桂陽小学校・共通理解事項(知の部会より)

- 日付・曜日などは、右側のホワイトボード上に記載すること
- 黒板は、余計なものを一切貼ったりしないこと。
- 前面掲示について、似顔絵をはったりしない。学習に集中できるようにできるだけシンプルにする。
- 以下、大分県教育委員会発行のユニバーサルデザインの良さを取り入れた学級・授業作りハンドブックより転載。 全ての子どもたちが「わかる、できる」を実感できる学級・授業作りのためには、教室環境づくりがとても大切です。

1 学習道具や提出物の整理整頓の仕方を定めている。

視覚刺激に敏感な児童生徒は、雑然とした環境が苦手です。何をどのように整理整頓すれば良いのかをはっきり示しておくことで、不安感やパニック行動を防ぐことができます。

指導・支援例

- A** ノートやプリントを提出するコーナーやかご等を準備する。
- B** 個人のスペース(ロッカー、フック等)を準備する。
- C** 教卓、教壇周辺をすっきりする。
- D** 学習や掃除等に使う道具については、「何を」「どこに」「どのように」整理すればよいか見本(写真・絵・色表示)を示す。



A 種類ごとにかごを用意することで、整理の仕方が分かりやすい。



C 目隠しカーテンの利用

児童生徒の様子

- 片付けが苦手。
- 学習の準備ができない。
- 授業に集中できない。



D 低学年生にも見やすいよう配慮された床表示

2 児童生徒の実態に合わせた座席配置をしている。

視力、聴力、身体的な面、こだわり等への配慮が必要な児童生徒は、環境に影響されることがよくあります。最大限の学習効果を得られるような環境づくりを心がけましょう。

児童生徒の様子

- 学級が騒々しい。
- 隣席同士のトラブルが多い。
- 班活動がうまくいかない。

指導・支援例

- A 先生や友達からのサポートを受けやすいようなペア・グループ編成を行う。
- B 個人の学びやすさ(視力、聴力、身体的な面、こだわり等)に配慮した座席決めを行う。
- C 授業に集中できるよう座席間のスペースを確保する。



A 必要なときにすぐにサポートが受けられる工夫



C 各自が集中できる環境スペース

3 視覚刺激に配慮した環境の調整をしている。

視覚による影響を受けやすい児童生徒にとって、必要以上の視覚情報は、マイナスの効果をもたらします。教師側の意図を明確にし、環境の調整を行いましょう。

児童生徒の様子

- すぐに気が散ってしまう。
- なかなか集中できない。
- 何をしているのか途中で分からなくなる。

指導・支援例

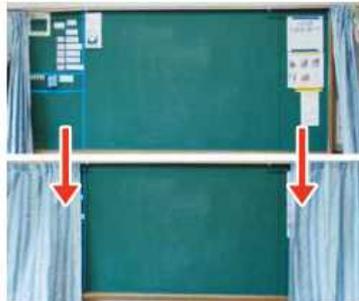
- A 教師側の意図に応じて、教室前面・側面・背面の使い方を工夫する。
- B カーテン等を利用して、活動内容に応じた環境の調整を行う。
- C 教室の掲示物を精選したり、過度の視覚刺激となる色使いにならないよう配慮する。



A 一時的又は拡大・強調して見せたい資料はICT機器を活用する。
※必要ない時はOFF



A ふりかえり等に使う資料は側面に掲示し、必要に応じて参照できるようにする。



B 常時必要のない掲示物はカーテン等で隠し、必要な場面ですぐに出せるようにする。

✕ 文字色と背景色の明暗差が少ない組み合わせ(例)

めあて	めあて	白と黄
めあて	めあて	赤と緑
めあて	めあて	赤と黒

○ 明暗差がはっきりとした組み合わせ(例)

めあて	めあて
めあて	めあて
めあて	めあて

C 色使いの配慮・工夫(例)

まいにちつづ かていがくしゅう
毎日続けよう！家庭学習 (家でする勉強のこと)

しゅくだい まいにち
宿題は、毎日しましょう。

いま がっこう べんきょう かんけい たんにん せんせい だ
今、学校で勉強していることに関係のあるものを担任の先生が出しています。

しゅくだい がっこう べんきょう
宿題をすると、学校での勉強がわかりやすくなります。

べんきょう やくそく
勉強するときの約束

しゅうちゅう
集中するために！

つくえ つくえ うえ せいとん
○きれいな机。(机の上の物を整頓してからしましょう。)

しせい
○よい姿勢。

○テレビやゲームは、なし。

かし
○お菓子やジュースも、なし。

き じかん と く
○決まった時間に取り組もう。

じかん
時間

がくねん ぶん
(学年×10+10)分をめざそう！

1ねん 20ぶん

2年 30分

3年 40分

4年 50分

5年 60分 (1時間)

} 高学年は目標の時間を決めてするのも
よいですね。

6年 70分 (1時間10分)

しゅくだい お じしゅがくしゅう
宿題が終わったら、自主学習にもチャレンジ！

しゅくだい がい ほか べんきょう
※自主学習とは宿題以外の他の勉強のことです。

じしゅがくしゅうれい
自主学習の例

こんなことをするといいよ。

1・2年

- ・おんどく(いえのひとにきいてもらいましょう。)
- ・かたかなやかんじのれんしゅう
- ・ししゃ(きょうかしょを ノートにうつす)
- ・けいさんれんしゅう
- ・につき
- ・どくしょ(いえのひとといっしょによむのもいいですね。)
- ・ドリルやもんだいしゅう

3・4年

- ・音読
- ・漢字練習
- ・計算練習
- ・読書
- ・学校で勉強したことに関係のある事がらを本やホームページで調べる。
- ・ドリルや問題集をする。
- ・視写
- ・言葉の意味調べ、調べた言葉を使って短文作り
- ・日記
- ・テストでまちがった問題をノートにうつしてする。

答えがあるものは、自分でたしかめて、やり直そう。

5・6年……自主学習用のノートを決めるとよいです。(10ミリ方眼)

- ・音読
- ・漢字練習
- ・計算練習
- ・読書
- ・学校で勉強したことに関係のある事がらを本やホームページで調べる。
- ・ドリルや問題集をする。
- ・その日に学校で勉強したことをノートにまとめる。
- ・新聞やテレビのニュースをまとめる。
- ・視写
- ・言葉の意味調べ、調べた言葉を使って短文作り
- ・日記
- ・テストでまちがった問題をノートにうつしてする。